



みはらふくし情報

5月号

令和4(2022)年
5月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷保健福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター) 電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター) 電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

4月に入り市内の福祉活動団体からは、活動を再開したという報告を多くいただきました。久しぶりの活動は、和やかで楽しい雰囲気が集まりになったようです。今号は大和本郷のサロン活動の様子をお届けします。コロナ禍で過ごす3度目のゴールデンウィーク。市内の感染者は少しずつ減っていますが、まだまだ気は抜けない状況です。引き続き感染対策をとりながら、楽しいひと時を過ごしましょう☆

「活動を再開してよかった！」

～大和町「あいあいサロン」の様子～

大和地域センター

「あいあいサロン」は、精神保健福祉ボランティアあいあいサークルが取り組む、大和町内の精神に障害のある方を対象にしたサロン活動です。精神保健福祉のボランティアの講座を受けた方が中心となり、社協と一緒に、精神障害者の自立支援や社会参加を目的に活動しています。

通常は2ヶ月に1回茶話会や屋外の活動に取り組んでいましたが、コロナ禍で中止せざるを得ない状況が続いていました。支援者からは「このままだとみんなの参加意欲が低下していくことが心配。」と、社協が活動の相談を受けていました。

3月にまん延防止等重点措置が解除されたことをきっかけに、再開に向けた話し合いが行われ、4月8日(金)に屋外の活動を計画することになりました。開催日当日は、天気も良く、桜も満開だったので、白竜湖の周辺を散歩したり、桜の木の下でお茶を飲んだりして、お花見を満喫することができました。

野外の活動は実に1年ぶりで、参加者からは「やっぱりこうやってみんなで外に出かけたり、会って話をしたりするのはいいね。」と喜びの声が聞けました。また、ボランティアからも、「ようやく思ったような活動ができてうれしいね。この活動を続けていこうね。」などといった声が聞かれました。



満開の桜を楽しんだ参加者たち

新人職員 紹介



生活支援コーディネーター
塚村 颯実(つかむら そうし)

4月に入社しました。大和地域などを担当します。精一杯頑張りますので、地域のここのところと教えてください！

新たな参加者も増え、パワフルに活動しています！

～本郷地区「さくらんぼ本郷」の様子～

本郷地域センター

「さくらんぼ本郷」は、本郷地区社会福祉協議会が毎週月曜日に本郷支所別館で開催しているサロンです。コロナ禍では、基本は午前中のみの活動ですが、月末の月曜日は、手作りの昼食があります。

訪問した4月25日(月)は、スタッフも合わせて22人が参加し、ジャンボジェンガゲームや蓄音機を使っての昭和歌謡レコード鑑賞で賑わいを見せていました。

昼食は、給食ボランティアバランス本郷さん手作りのお弁当をいただきました。皆さん「良い味をしている」と絶賛していました。

コロナ禍で、中断期間もありましたが、新年度を迎え、新たに参加者が2人増えたそうです。サロンを通じて、地域での新たなつながりを作ってほしいと思います。

ジェンガゲーム



ハラハラドキドキ。あまりにも高く積み上がりすぎたため、引き分けになりました(笑)

レコード鑑賞



「カモメの水兵さん」などを口ずさみました

手作り弁当



彩り豊かで、筍をふんだんに使ったお弁当でした

お役立ち情報

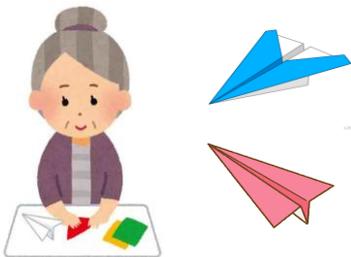
紙飛行機でねらえ！紙コップタワー♪

みんなのできるレクリエーションの紹介です。昔を思い出しながらの紙飛行機づくり。折り方も色々です。うまく飛ばしてタワーを倒せるか？ハラハラドキドキ感を楽しんでみてください♪

◆準備するもの

- ・紙コップ 10個ほど
- ・折り紙またはコピー用紙 人数分

◆遊び方

① 折り紙で紙飛行機を作る	② 紙コップでタワーを作る	③ タワーに向けて飛ばす
 <p>手先の刺激で脳を活性化！</p>	 <p>距離や高さは自由自在！</p>	 <p>たくさん倒して気分スッキリ！</p>